

まちのニュース カメラアイ ～地域のお話をお届けします～

8/1
(月)



ステップアップ夏休み教室

小学生の学習習慣づくりを応援する教育委員会主催の「ステップアップ夏休み教室」が、8月1～3日の3日間公民館で行われました。この教室は、毎週木曜日に実施している「ステップアップ教室」の夏休み版で、参加している1～3年生を対象に学習習慣及び基礎基本を身に付けることをねらいに行われました。参加した14名の児童は、汗を拭いながら午前9時30分から同11時まで、持参した学習材に意欲的に取り組みました。

7/21
(木)



年に一度の交流会

第24回全町老人クラブ交流会が公民館で開催され、老人クラブ会員約270名が参加しました。

社会福祉法人 北海道共同募金会 事務局次長 成田 達哉氏に「共同募金を取り巻く情勢」についてご講演いただき、参加者は熱心に講演を聴いていました。

午後からはカラオケやバンド演奏、舞踊など各クラブで練習を重ね、工夫を凝らした演芸を発表し、年に一度の交流会を楽しんでいました。

8/7
(日)



朗読と講演「塩狩峠」

NHK札幌放送局から、おはよう北海道でおなじみの高橋美鈴アナウンサーにご出演いただき、ギターを生演奏とともに臨場感あふれる「塩狩峠」の朗読会が開催されました。

町内外から約270名が会場を訪れ、塩狩峠の愛の世界に浸っていました。

7/29
(金)



国際交流の集い in わっさむ

7月29日から8月1日までの4日間、北海道大学で学んでいる中国からの留学生5名が和寒町にホームステイし、農作業やカヌー、茶道などを体験しました。毎年、国際交流の会が留学生を受け入れ、共に生活する中で、言葉や国を越えた心通う国際交流がおこなわれています。



8/10
(水)

レンガに刻む“私のまち”

公民館で教育委員会主催の「夏休み子どもレンガ工作」をおこないました。

この取組は、北海道建設業協会100周年記念事業で、北海道庁赤レンガ前庭のアプローチ部分を道内179市町村の小学生が刻んだレンガで舗装する『レンガに刻む“私のまち”』の一環で開催しました。

参加した児童たちは、カボチャや越冬キャベツ、塩狩峠記念館など和寒をPRできるものを考え、彫刻刀を使って慎重に彫っていました。

制作したレンガによる舗装は10月に完成の予定です。



8/17
(水)

わっさむの支え合うまちづくり

町と三笠山大学講座の共催による介護予防講演会を公民館で開催しました。

「和寒でつくる安心生活」と題した基調講演では旭川大学 保健福祉学部コミュニティ福祉学科 林芳治教授から「サロンの役割には見守りや社会からの孤立防止、地域の活性化などの効果があり、介護の地域化をすすめるもので、継続が大切」との話がありました。その後、恵みヶ丘生きがいサロン 工藤昭会長、サロン「おやすみ処」

山本誠子代表からサロン活動の内容や利用者の変化等の報告をいただきました。参加者は講演や報告に真剣に耳を傾けていました。



8/10
(水)

夏休みお楽しみ会

小学生を対象にした「夏休みお楽しみ会」をこども館で開催しました。

今年度のレクリエーションは「陶芸」に挑戦し、こども館の隣にある生きがいセンターで陶芸クラブの方々に講師をしていただき、参加した児童はそれぞれ工夫を凝らしたお皿を作っていました。

また、昨年に引き続き土別更生保護女性会和寒分区の方々に昼食を作っていただき、みんなでお腹いっぱいおいしくいただきました。



8/14
(日) 中和・三和菊野 盆踊り



大通り 盆踊り大会



8/16
(火)